

平成30年第1回
総務文教常任委員会

所管事務調査報告

日 時：平成30年1月30日(火)
午前10時00分～

場 所：委員会室

調査内容：生涯学習課所管事務調査
(1) 地域学校協働活動事業について

出席者：総務文教常任委員

国見町議会

松 浦 常 雄 委員長	2
浅 野 富 男 副委員長	4
東 海 林 一 樹 委員	5
八 島 博 正 委員	6
佐 藤 定 男 委員	7
松 浦 和 子 委員	8

平成30年第1回総務文教常任委員会 生涯学習課所管事務調査報告書

平成30年2月20日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 松浦常雄

【調査内容】生涯学習課所管事務調査

(1) 地域学校協働活動事業について

1. コミュニティスクールについて

- ①「学校運営協議会」：平成26年度に制定。これが設置されている学校をコミュニティスクールという。

対象：(国見学園＝保育所、幼稚園、小学校、中学校)

- ②狙い：地域の人々と、目標や、ビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む。「地域とともにある学校」を目指す。

学校における地域との連携・協働体制を組織的・継続的に確立する。

- ③「学校支援地域本部」・・・地域の教育力を学校教育へ生かすボランティアの実働部隊。

2. 地域学校協働活動本部について 平成29年4月に制定。

- ①地域学校協働活動事業・・・学習支援コーディネーター1名
学習支援活動、地域活動

- ②学校支援活動事業・・・学習支援コーディネーター1名、ほかにICT支援、学校の要望に応じた学習支援、登下校の見守り、部活動支援、環境整備

- ③放課後子ども教室事業・・・学習支援コーディネーター1名
放課後の小学生が安全で安心して活動できる居場所づくりと体験や交流の場づくりを進め、子どもの健全育成と安心して子育てができる社会の実現。

※地域コーディネーターの任務：・地域資源の教材化 ・地域活動の調整
・ボランティアの確保 ・学校への人材派遣

【調査の結果(理解したこと)】

地域学校協働活動は、これまでのコミュニティスクールの学校支援、放課後子ども教室、(以下新)土曜日の教育活動、長期休業中の学習支援、家庭教育支援、地域社会における地域活動、学びによるまちづくりなどを包括し、新たに名付けた制度。

- ① コミュニティスクールの学校支援活動はボランティア活動であるが、新制度の学習支援活動として行われている活動は、外部講師に委託するなど費用がかかっている。土曜日学習活動、夜間の学習支援活動、長期休業中の学習支援活動、家庭教育支援は、県の委託事業で3年間で約1千万円の補助金を得て実施している。補助金が切れれば継続することが困難になることが懸念される。
- ② 新しい制度は、これまで以上に地域と学校の結びつきを強くすることにより地域の活性化を図ろうとしている。そのため、地域の行事に子どもたちをより積極的に参加させ、地域を愛し、地域づくりに貢献する人材育成を期待している。
- ③ 新しい制度の狙いは、地方創生の一環とも受け取ることができる。
- ④ この度の文部科学大臣賞は、「地域学校協働活動」が高く評価されたとあるが、新制度が発足して間もない期間での受賞は、何が評価されたのかわかりにくい。補助金による学習支援だけでなく、「コミュニティスクールのボランティアによる学習支援」、「子どもわんぱく広場」など、これまで積み重ねてきた「ボランティア活動」を含めた活動が高く評価されたと考えられる。

以 上

平成30年第1回総務文教常任委員会 生涯学習課所管事務調査報告書

平成30年2月20日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 浅野富男

【調査内容】生涯学習課所管事務調査

(1) 地域学校協働活動事業について

調査にあたって配られた資料には「コミュニティ・スクールと地域学校協働本部事業について」とあり、サブタイトルとして一地域学校協働活動事業を中心として一ということの説明は本事業を担当している生涯学習課より受けることになった。

コミュニティ・スクールは平成26年12月に指定を受け、地域に開かれ地域に信頼される学校づくりを進めるための仕組みである。コミュニティ・スクールに指定された学校には学校運営協議会が設置されることになる。これを受け町では、幼稚園、小学校、中学校に学校運営協議会を置き、これらを一体的に運営するために保育所も含め一つの集合体とみなし国見学園という呼称のもと、国見学園コミュニティ・スクール委員会を設置している。国見学園構想では「確かな学力をはぐくむ」、「心身の健康をはぐくむ」、「郷土愛をはぐくむ」という3つの大きな柱のもとで活動を行っている。平成29年4月からは、児童生徒の学べる場所として、観月台文化センターなどを提供し、自主的な学習への取り組み、課題解決のためのサポートなど学習支援のための事業を行っている。

地域学校協働本部事業は、地域学校協働活動事業、学校支援事業、放課後子ども教室事業としてとりくまれており、それぞれコーディネーターが配置され、学校との連携・協働して事業が展開されることになっている。

【感想】

本町は保育所、幼稚園、小学校、中学校がそれぞれ1つしかない。少子化のためという背景を度外視すれば、教育の環境はやさしい形態ともいえる。

「国見学園」構想の下ではこうした環境を上手に取り込んだ事業といえる。

成長期である子どもたちには、1人の社会人として的人格形成されるよう支援することではなかろうか。あまりにも忙しすぎる時間割になっては、歪が発生しかねないので、要注意しながら事にあたるのが肝要と思う。

以上

平成30年第1回総務文教常任委員会 生涯学習課所管事務調査報告書

平成30年2月20日

国見町議会議長 東海林一樹

【調査内容】生涯学習課所管事務調査

(1) 地域学校協働活動事業について

生涯学習課から配布された資料に基づき、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動事業について説明を受けた。

コミュニティ・スクールの仕組みのあり方、学校と地域の効果的な連携、協働と推進体制、地域における学校支援活動等の実施体制、学校との協働体制（地域学校協働本部）のあり方などの説明が詳しくあった。

また、学習支援事業の実施状況の説明では、

- ① 小学校放課後学習支援「放課後スタディルーム」
- ② 土曜学習支援「土曜学習会」
- ③ 長期休業中学習支援
- ④ 特別学習支援
- ⑤ 中高生放課後学習支援「観月台フリー学習室」

などの実施回数と参加者数もそれぞれ説明があった。

【感想】

事業はそれぞれきめ細かく考えられており、評価できるものだと感じた。

以上

平成30年第1回総務文教常任委員会
生涯学習課所管事務調査報告書

平成30年2月19日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

【調査内容】生涯学習課所管事務調査

(1) 地域学校協働活動事業について

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動事業について
(国見学園のスタートについて)

- 国見学園とは、幼稚園、小学校、中学校の学校運営協議会を一体的に運営し、地域に開かれ、地域に信頼される学校づくりを進めていくもので、その内容について、および活動について生涯学習課長より説明を受けた。

【感想】

- 本年度の活動の中で、放課後スタディルームや土曜学習室などの事業も定着してきているように感じられた。
- 幼小中が一緒になり取り組んだ「くにみっ子まつり」は、多くの人々の協力のもとに交流しながら活動し学ぶという成果も上がっていると思われる。
- 学習サポート事業も、参加人数が少なく苦勞も多いと思うが、今後も継続が大切であると思う。

以上

平成30年第1回総務文教常任委員会
生涯学習課所管事務調査報告書

平成30年2月21日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 佐藤定男

【調査内容】 生涯学習課所管事務調査

(1) 地域学校協働活動事業について

地域学校協働活動事業とは

- 国見町はコミュニティ・スクールの指定を受けているが、さらに地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指す。
- 幼・小・中一貫教育としての国見学園の3つの柱
 - 確かな学力・心身の健康・郷土愛を育む
- コーディネート機能を充実させ「支援」から「連携・協働」へと、既存の学校運営協議会と地域住民、団体等のネットワークとの連携・協働を強化していく。
- 平成29年4月から学習支援を強化、自主的な取り組みを重んじながら放課後や土曜学習室などを実施している。
- これらの活動が認められ、地域学校協働本部が文部科学大臣表彰を受けた。

【感想・意見】

- 地域学校協働活動事業により、国見学園の子どもたちの学力向上はもとより、健やかな成長を切に願っている。
- 事業に携わる関係者の方々に深く敬意を表する。

以上

平成30年第1回総務文教常任委員会 生涯学習課所管事務調査報告書

平成30年2月21日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 松浦和子

【調査内容】生涯学習課所管事務調査

(1) 地域学校協働活動事業について

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部事業について

- ①これからのコミュニティ・スクールの在り方の見直し（イメージ）
 - 学校協働本部事業運営協議会制度を導入する学校
 - 学校運営協議会委員の任命に校長の意見を反映、委員は保護者代表、地域住民の代表

- ②学校と地域の効果的な連携・協働と推進体制（イメージ案）
 - 主に小学校区を想定 学校と地域の連携協働 学校づくり・地域づくり
 - 今後の地域における学校との協働体制の在り方

- ③国見町地域学校協働本部の取組事例の紹介

【感想】

学校運営協議会が学校運営に大きな関わりを持つことにより、地域住民等の学校支援を促進。国見町においては、すでに保育所・幼稚園・小学校・中学校では一貫した取り組みを行なっていると説明を受けた。取組事例の説明も受けたが、地域住民の学習支援活動や一緒にものづくりに取り組んでいる様子は微笑ましく思った。

今後、学校と地域の連携が一層重視されることになると思う。

以上